

手稲通信

題字 土岐 知明さん (星置在住)



男性料理グループ
「稲厨会」

▲おそろいで作った調理帽が皆さんともお似合いです。後列左から高橋良人さん、佐久間常夫さん、木戸武仁さん、高橋靖雄さん。前列左から、藤川 悟さん、高橋重男さん、中井久夫さん、三木義治さん

料理は楽しいね。
これからもずっと続けていこう。



男性だけの料理グループ「稲厨会」の皆さんは、毎月1回の昼食会で料理に励んでいます。平成11年に結成し、メンバーの入れ替わりもありましたが、現在の会員は13人。平均年齢が約70歳という皆さんは、「男子厨房に入るべからず、などといわれていた時代には全く料理をしたことがありませんでした。食材の買い出しや包丁の使い方など、料理の基本から一つずつ学んで、今では料理が楽しみになりました」と笑顔で言い、中には「おいしい手料理で妻を喜ばせてあげたいからね」と少し照れながら話すメンバーもいます。「稲厨会」は代表者を決めずに全員で平等に協力し合いながら活動し、食材の買い出しなども毎月順番で当番の人が行っているのが特徴です。「月1回の稲厨会は生活の励みになるから、絶対に辞められないね。これからもずっと続けていきたいね」と、口々に言いながら料理したこの日のメインメニューはギョーザ。皮から作ったギョーザは格別のおいしさで、皆さんとも満足そうでした。



▲時には冗談を交わしながら和気あいあいとした雰囲気の中で料理に取り組みます
▲ギョーザの皮作り。めん棒で円く平たくのばしていきます